



第17回世界湖沼会議 (いばらき霞ヶ浦2018)

17th World Lake Conference
(Lake Kasumigaura, Ibaraki, Japan, 2018)



開催報告書





開催報告書

第17回世界湖沼会議

(いばらき霞ヶ浦2018)

17th World Lake Conference
(Lake Kasumigaura, Ibaraki, Japan, 2018)

人と湖沼の共生

— 持続可能な生態系サービスを目指して —

Harmonious Coexistence of Humans and Lakes
- Toward Sustainable Ecosystem Services -



第17回

いばらき霞ヶ浦2018

世界湖沼会議

17th World Lake Conference

Lake Kasumigaura, Ibaraki, 2018

2018/10/15(月) - 19(金)

つくば国際会議場ほか

主催：茨城県、公益財団法人国際湖沼環境委員会 (ILEC) 共催：国土交通省、環境省、農林水産省、土浦市、つくば市、かすみがうら市、群山市、茨城県、水戸市、霞ヶ浦問題協議会、ラムサール条約登録湿地ひぬまの会
お問い合わせ先：第17回世界湖沼会議(いばらき霞ヶ浦2018)実行委員会事務局 〒310-8555 茨城県水戸市笠原町 578 番 6 茨城県 生活環境部環境対策課内
〒310-8555 茨城県水戸市笠原町578番 茨城県生活環境部環境対策課内 電話：029-301-2995 FAX：029-301-2999 Email: wlc17@pref.ibaraki.jp 検索ワード：世界湖沼会議

第17回世界湖沼会議開催案内ポスター

第17回 世界湖沼会議 (いばらき霞ヶ浦2018)

会期：平成30年10月15日(月)～19日(金)

会場：つくば国際会議場 ほか

【主 催】 茨城県、公益財団法人国際湖沼環境委員会 (ILEC)
【共 催】 国土交通省、環境省、農林水産省、土浦市、つくば市、かすみがうら市、群山市、茨城県、水戸市、霞ヶ浦問題協議会、ラムサール条約登録湿地ひぬまの会



人と湖沼の共生

— 持続可能な生態系サービスを目指して —



お問い合わせ先

第17回世界湖沼会議(いばらき霞ヶ浦2018)実行委員会事務局
〒310-8555 茨城県水戸市笠原町 578 番 6 茨城県 生活環境部環境対策課内
電話：029-301-2995 / FAX：029-301-2999
Email: wlc17@pref.ibaraki.jp

茨城県 世界湖沼会議

～第17回世界湖沼会議(いばらき霞ヶ浦2018)のシンボルマークについて～

(公財)国際湖沼環境委員会(ILEC)の公式ロゴをベースに、茨城県と県内湖沼の地図に「IBARAKI2018」と記載し、オリジナリティを加えるため、「A」の文字を「八」と表記しました。ILECロゴの上下の三本線は、市民・研究者・行政の3者と、水・土・緑の3要素を表しておりますが、第17回世界湖沼会議(いばらき霞ヶ浦2018)のシンボルマークでは、森林の緑色、湖の青色をグラデーションで表しています。



ILEC ロゴ

ご挨拶



第17回世界湖沼会議実行委員会会長

茨城県知事 大井川 和彦

我が国第二の湖「霞ヶ浦」を有する茨城県では、湖沼の抱える様々な問題の解決に向け、公益財団法人国際湖沼環境委員会との共催により「第17回世界湖沼会議（いばらき霞ヶ浦2018）」を開催いたしました。

今回の会議では、「人と湖沼の共生—持続可能な生態系サービスを目指して—」をテーマとして、湖沼の生態系サービスを持続的に享受するためにはどのようなことに取り組むべきかについて、住民、農林漁業者、事業者、研究者、行政など50の国と地域から延べ約5,500名の方が一堂に会し、様々な角度から議論が行われました。

国内外の政策責任者が討議した政策フォーラムや霞ヶ浦の未来像が話し合われた霞ヶ浦セッションはもとより、市民団体と連携して行われたサテライト会場での事例発表やシンポジウム、会議前日の子どもたちによる学生会議など様々な討議が熱心に行われました。

その議論を通し、私たちは湖沼から得られる恵みを流域の人々がバランスよく受け取りつつ、しっかり次世代に引き継いでいくために、一人一人が自らの問題として認識し、改善に向けて行動していくことが重要であることを改めて認識いたしました。

会議最終日には、これらの考えを「いばらき霞ヶ浦宣言2018」として取りまとめ、本県から世界に向けて発信することができたところです。今回の会議が一過性のイベントとして終わることなく、会議で築いた様々な連携を世界に広げ、生態系サービスを次の世代に引き継ぐ努力が世界中で展開されることを心から期待しているところです。

第17回世界湖沼会議開催にあたり、ご支援、ご協力を賜りました全ての方々に
対し深く感謝申し上げますとともに、会議の成果が世界の湖沼が抱える様々な課題の解決に貢献し、湖沼が有する生態系サービスが次世代に引き継がれますことを、
また、次回メキシコで開催される第18回世界湖沼会議への橋渡しとなりますことを、
心より祈念申し上げる次第です。

第17回世界湖沼会議(いばらき霞ヶ浦2018)開催報告書

目 次

カラー写真	I 開催趣旨	33
開会式	II 開催概要	34
いばらき霞ヶ浦賞授与式	III 会議日程	35
基調講演	IV 開会式	37
湖沼セッション(国外湖沼)	V いばらき霞ヶ浦賞授与式	39
政策フォーラム	VI 会議概要	
湖沼水環境保全に関する自治体連携設立宣言	1 基調講演	40
湖沼セッション(国内湖沼)	2 湖沼セッション(国外湖沼)	41
霞ヶ浦セッション	3 政策フォーラム	43
分科会	4 湖沼水環境保全に関する自治体連携設立宣言	45
展示企画 (展示会、協賛企業・団体の紹介パネル展示、 主催者等の取組展示)	5 湖沼セッション(国内湖沼)	47
エクスカージョン(霞ヶ浦コース)	6 霞ヶ浦セッション	50
エクスカージョン(北浦・澗沼・千波湖コース)	7 分科会	53
レセプション	8 ワークショップ	64
歓迎パーティー	9 学生会議	67
参加者交流会	10 サテライト会場	69
会議総括	11 展示企画	73
閉会式	12 会議総括	75
会場風景	VII 閉会式	78
会場外風景	いばらき霞ヶ浦宣言2018	79
学生会議		
サテライト会場		
会議資料		

Ⅷ 交流行事

1 歓迎パーティー	84
2 招待者レセプション	84
3 参加者交流会	85

Ⅸ エクスカーション

X 会議運営

1 参加登録・受付	91
2 宿泊・輸送	95
3 案内・誘導	96
4 参加者サービス	96
5 協賛・寄附・助成制度	100
6 プレスセンター	102
7 危機管理対応	103

XI 途上国参加者旅費等助成制度

XII 運営体制

1 茨城県の組織体制	105
2 第17回世界湖沼会議 (いばらき霞ヶ浦2018)実行委員会	105
3 第17回世界湖沼会議 (いばらき霞ヶ浦2018)実行委員会事務局	108
4 第17回世界湖沼会議 (いばらき霞ヶ浦2018)実施本部	108

XIII 開催までの歩み

1 会議の誘致	109
2 基本構想の策定	109
3 第16回世界湖沼会議 (インドネシア・バリ島)への参加	111
4 基本計画の策定	113
5 論文募集・審査	115
6 プログラムの策定	123
7 優秀発表賞	126
8 第10回いばらき霞ヶ浦賞	127
9 学生会議	130
10 開催準備・広報活動	140

挨拶・基調講演など

開会式における挨拶	151
基調講演	164
政策フォーラム 茨城県知事発表	170
会議総括	174

第17回世界湖沼会議

(いばらき霞ヶ浦2018)実行委員会規約	194
----------------------	-----

組織	199
----	-----

協賛企業・団体のご紹介	205
-------------	-----

助成団体のご紹介	206
----------	-----



開会式

10月15日(月)



お言葉を述べられる秋篠宮殿下



大井川 和彦 茨城県知事



竹本 和彦（公財）国際湖沼環境委員会理事長



石井 啓一 国土交通大臣



勝俣 孝明 環境大臣政務官



小里 泰弘 農林水産副大臣



秋篠宮同妃両殿下



学生会議代表
左から、
高校生の部
川島 英登史さん(逆川こどもエコクラブ)
中学生の部
中沢 凧さん(水戸英宏中学校)
小学生の部
黒田 里瑚さん(稲敷市立浮島小学校)



Keith Alverson
国際連合環境計画
国際環境技術センター 所長



三日月 大造 滋賀県知事



山岡 恒夫 茨城県議会議員



登壇者



いばらき霞ヶ浦賞授与式

10月15日(月)



大井川知事より賞状授与



受賞者10名



受賞者代表挨拶
Porsry Ung 氏（カンボジア）

基調講演

10月15日(月)



三村 信男 茨城大学長



湖沼セッション(国外湖沼)

10月15日(月)



コーディネーター：中村 正久 (公財)国際湖沼環境委員会副理事長



Colin Finlayson
チャールズ・スタート大学教授 (オーストラリア)



Daniel Olago
ナイロビ大学教授 (ケニア)



Walter Rast
テキサス州立大学名誉教授 (アメリカ)



Ajit Pattnaik
ウェットランズ・インターナショナル南アジア副会長
(インド)



Alejandro Juárez Aguilar
NGO コラソン・ディ・ラ・ティエラ理事長
(メキシコ)



政策フォーラム

10月16日(火)



大井川 和彦 茨城県知事



塚原 浩一
国土交通省 水管理・国土保全局長



田中 聡志
環境省 水・大気環境局長



島田 和彦
農林水産省 農林水産技術会議事務局
研究総務官



Keith Alverson
国際連合環境計画
国際環境技術センター 所長



Gábor Molnár
巴拉トン湖開発評議委員会
マネージングディレクター（ハンガリー）



コーディネーター：
松井 三郎 企画推進委員会 委員長



湖沼水環境保全に関する自治体連携設立宣言
10月16日(火)



左から、
中島 恵理 長野県副知事
三日月 大造 滋賀県知事
大井川 和彦 茨城県知事
平井 伸治 鳥取県知事
吉山 治 島根県東京事務所長

湖沼セッション(国内湖沼)

10月16日(火)



中村 正久
(公財)国際湖沼環境委員会 副理事長



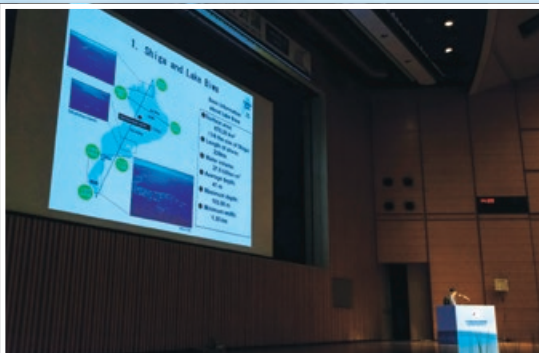
熊谷 和哉
環境省水・大気環境局水環境課長



岩井 聖 国土交通省水管理・国土保全局
河川環境課 企画専門官



コーディネーター：
福島 武彦 茨城県霞ヶ浦環境科学センター長



事例発表・質疑応答



井手 慎司
滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科教授



奥田 昇
総合地球環境学研究所准教授



大西 真人
(株)日立製作所水ビジネスユニット水事業部CTO



尾崎 昂希
NPO法人国際ボランティア学生協会(IVUSA)
琵琶湖オオバナミズキンバイ対策チーム長



霞ヶ浦セッション

10月18日(木)



コーディネーター：福島 武彦
茨城県霞ヶ浦環境科学センター長



桑名 美恵子
茨城県県民生活環境部次長



伊藤 一郎
霞ヶ浦漁業協同組合霞ヶ浦水産研究会会長



但田 賢哉 新日鐵住金(株)鹿島製鐵所
安全環境防災部環境防災室長



辰野 剛志 国土交通省関東地方整備局
霞ヶ浦河川事務所長



今野 浩紹
(株)かすみがうら未来づくりカンパニー
代表取締役



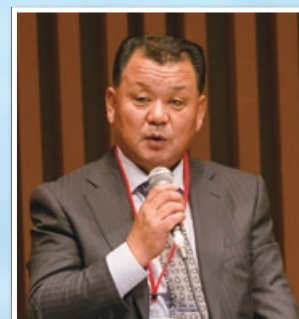
滝下 利男
世界湖沼会議市民の会 '18 副会長



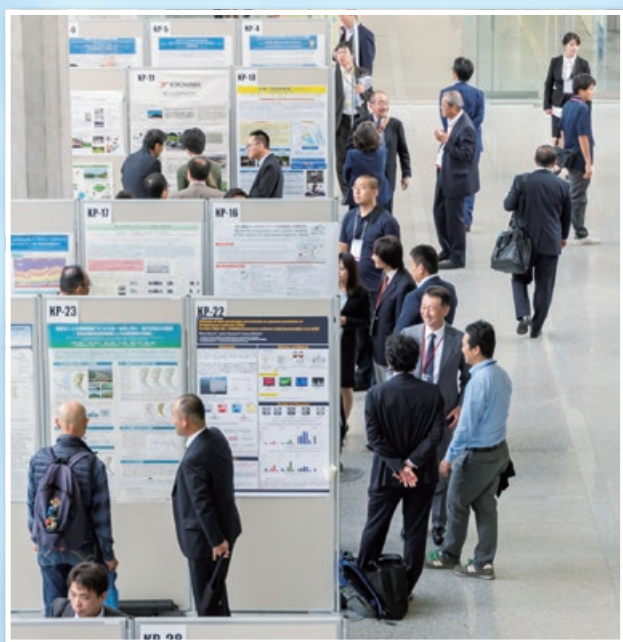
中村 正久
(公財)国際湖沼環境委員会 副理事長



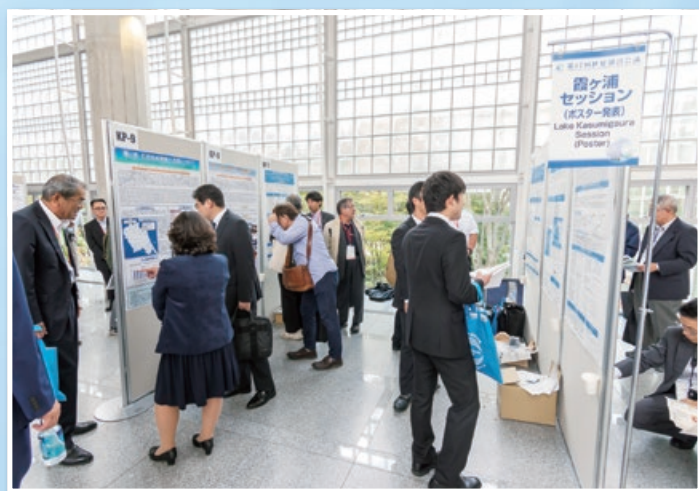
事例発表
質疑応答



パネルディスカッション

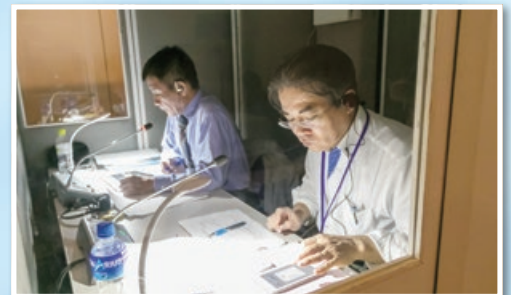


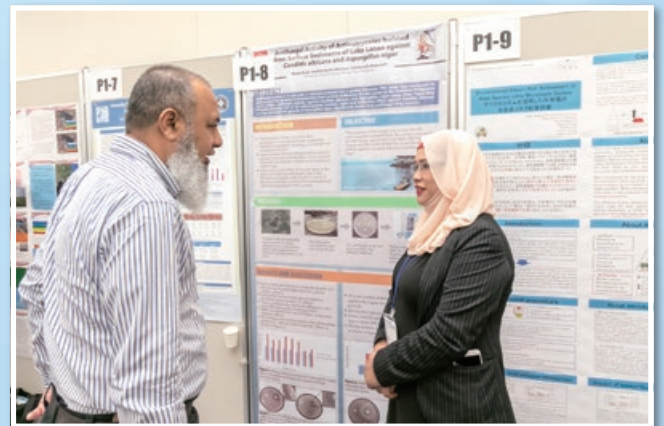
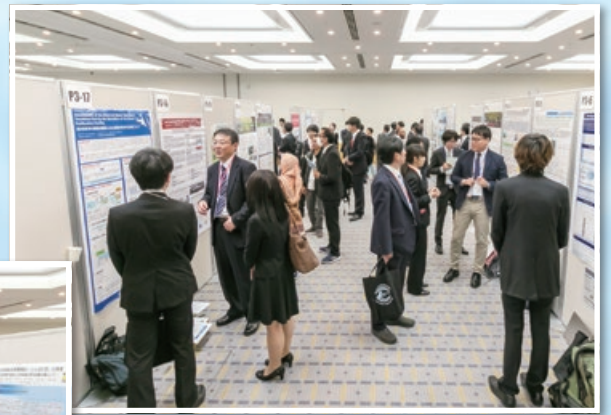
ポスター発表



分科会

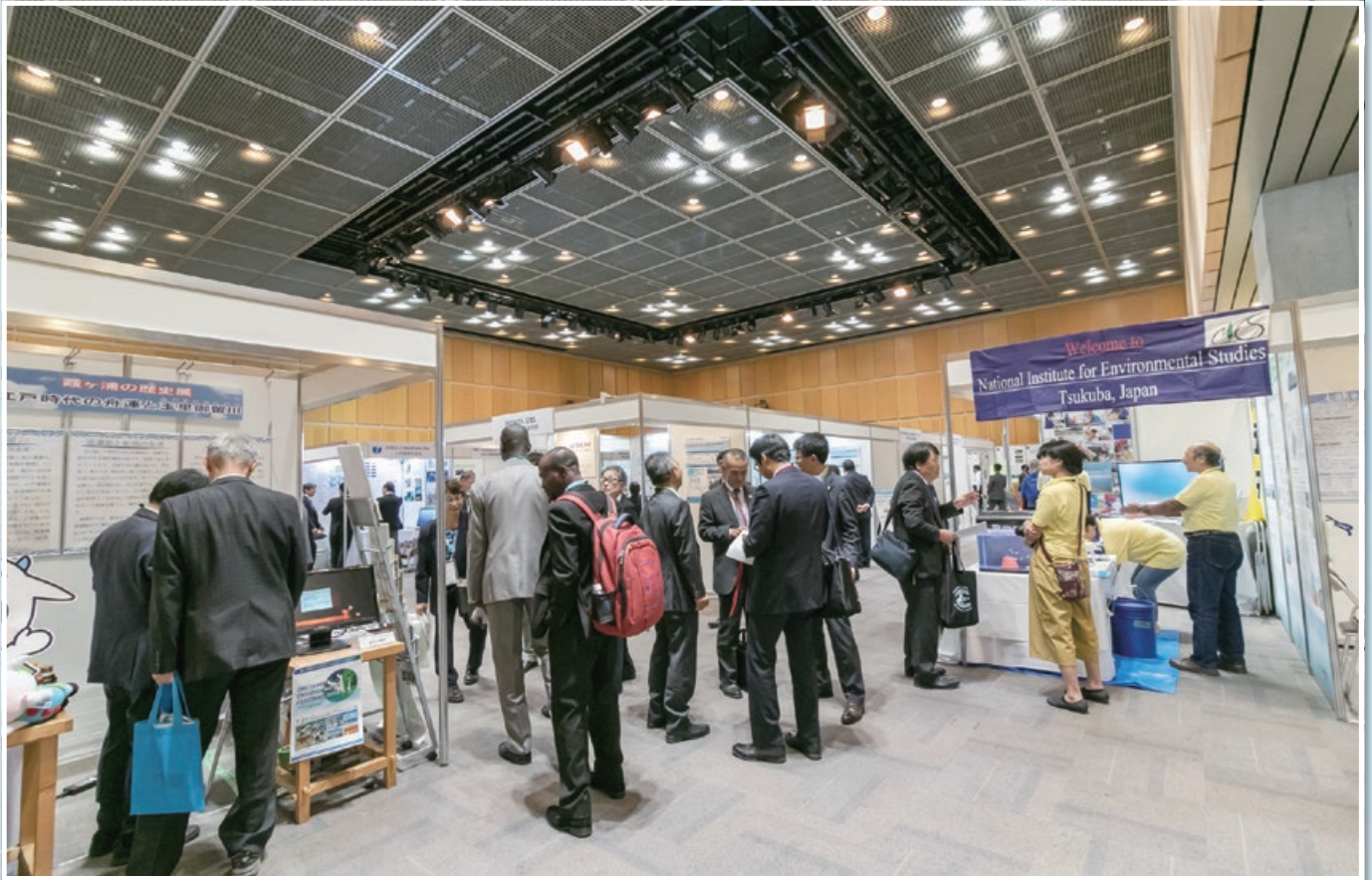
10月16日(火)、18日(木)



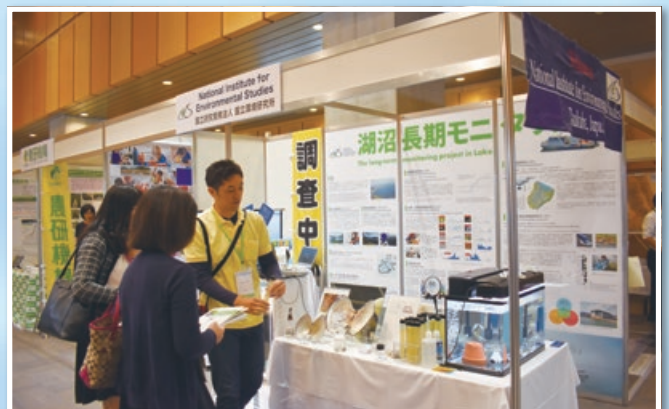


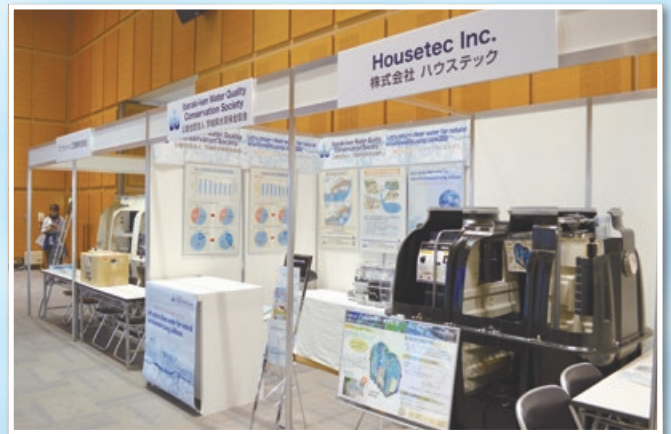
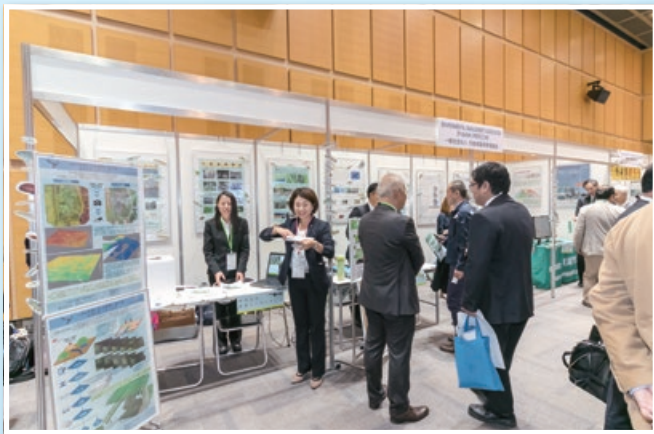
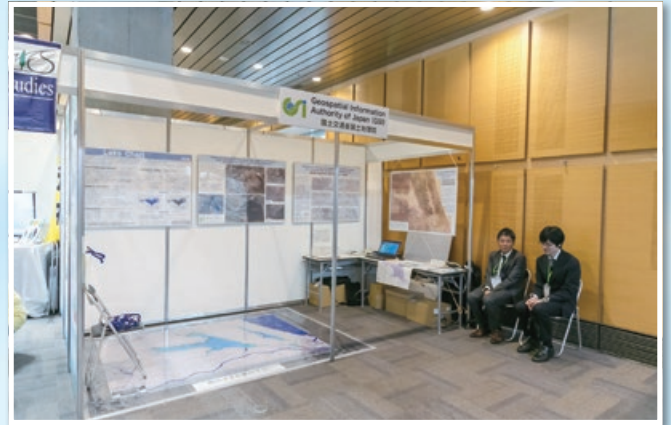
展示企画

(展示会、協賛企業・団体の紹介パネル展示、主催者等の取組展示)



展示会





主催者等の取組展示

協賛企業・団体の紹介パネル展示

エクスカーション(霞ヶ浦コース)

10月17日(水)



石田湖岸



自然再生事業(B区間)



自然再生事業(H区間)



霞ヶ浦環境科学センター



茨城県 霞ヶ浦浄化センター



霞ヶ浦直接浄化実証施設



茨城県企業局霞ヶ浦浄水場

エクスカーション(北浦・涸沼・千波湖コース)

10月17日(水)



北浦北部周辺地域



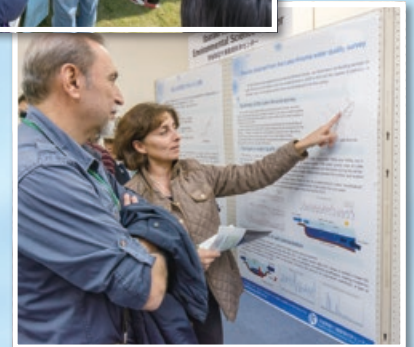
涸沼自然公園



いこいの村涸沼



千波湖



那珂機場

